

事業概要

2024年3月期

株式会社ムーミン物語 第11期決算公告

埼玉県飯能市大字宮沢327番地6
株式会社ムーミン物語
代表取締役社長 小幡 匡志

【基本方針】

当社は「北欧時間が流れる森と湖での体験を通じて、こころの豊かさの本質を提供する」を企業ミッションとして、埼玉県飯能市に所在する宮沢湖においてムーミンの物語の世界観を体験できる「ムーミンバレーパーク」を運営しております。当社は、来園されるゲストの皆様、株主の皆様、協賛企業、地元自治体・企業やお取引先企業をはじめとするあらゆるステークホルダーの皆様からの信頼と共感をもとに、企業価値を高めてまいります。

【経営環境】

当事業年度における日本経済を取り巻く環境は、ウクライナ情勢の長期化、資源価格の上昇や急速な円安進行による物価上昇が個人消費の停滞につながったものの、政府や自治体による行動制限はなくなり、5月には新型コロナウイルスが5類移行となり、お出かけ需要やインバウンド需要などにより国内の景気は緩やかに回復するものとなりました。

各レジャー施設がコンテンツ更新などの設備投資や、プロモーションを競って計画・実施する中、ムーミンバレーパークでは、多くのゲストに楽しんで頂けるよう、シーズンイベントとしては、2023年春には毎年恒例となりました「ムーミン谷とアンブレラ」をオーロラカラーにて開催しました。

夏には物語をモチーフにした、パーク初イベントの「Moomin on the Riviera」として、ビーチをイメージしたミストなどを展開しました。

秋には「ムーミンバレーパークのハーベスト」を開催し、りんごをイメージしてデコレーションを実施しました。

冬イベントとして「Winter Wonderland」を開催し、色鮮やかなライトアップとプロジェクションマッピングの他、「ムーミン谷の花火大会」で湖上から花火を打ち上げ、冬の夜空を彩りました。

また、ムーミンバレーパークは2024年3月16日に開業5周年を迎え「リトルミイのプレイスポット」が「ムーミン谷の映画館」としてリニューアルし、国内初となるアニメーション上映、キャラクターオブジェや新たなフォトスポットなども登場しました。

これらのイベントプロモーションや設備投資と並行して、チケット価格改定や仕入れ見直しによる原価削減を進めた結果、一定の集客・収益にはつながったものの、通年では売上、営業利益とも前年を下回る結果となりました。

以上の結果、当事業年度における業績は、売上高 2,218 百万円（前年同期間は 2,420 百万円）、営業損失 368 百万円（前年同期間は営業損失 309 百万円）、経常損失 375 百万円（前年同期間は経常損失 525 百万円）、当期純利益は㈱ライツ・アンド・プランズ(以下「RBJ」)株式の売却益 671 百万円を特別利益に計上したことにより292百万円（前年同期間は当期純損失 546 百万円）となりました。

貸借対照表

(2024年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	740	流動負債	2,204
現金及び預金	318	買掛金	87
売掛金	113	短期借入金	376
商品	148	リース債務	150
原材料及び貯蔵品	34	未払金	1,478
前払費用	37	未払費用	12
未収入金	54	未払法人税等	5
関係会社短期貸付金	23	預り金	3
その他	10	賞与引当金	22
固定資産	5,947	その他	69
有形固定資産	4,512	固定負債	4,465
建物	40	長期借入金	232
構築物	164	リース債務	4,233
機械装置	13		
車両運搬具	0		
工具器具備品	128	負債合計	6,670
リース資産	4,165	(純資産の部)	
建設仮勘定	0	株主資本	17
無形固定資産	3	資本金	50
ソフトウェア	3	資本剰余金	4,952
投資その他の資産	1,431	資本準備金	2,501
関係会社出資金	449	その他資本剰余金	2,451
関係会社長期貸付金	754	利益剰余金	△4,984
その他	227	その他利益剰余金	△4,984
		純資産合計	17
資産合計	6,688	負債・純資産合計	6,688

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

損益計算書

(自 2023 年 4 月 1 日 至 2024 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

科目	金額	
売上高		2,218
売上原価		1,974
売上総利益		243
販売費及び一般管理費		612
営業損失		△368
営業外収益		
受取利息	12	
資金運用収益	90	
助成金収入	2	
その他	10	115
営業外費用		
支払利息	87	
匿名組合損失	30	
その他	4	122
経常損失		△375
特別利益		
固定資産売却益	2	
関係会社株式売却益	671	673
特別損失		
固定資産除却損	0	0
税引前当期純利益		297
法人税、住民税及び事業税		5
当期純利益		292

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

有価証券の評価基準及び評価方法

匿名組合出資金

匿名組合の出資時に「匿名組合出資金」を計上し、匿名組合が獲得した純損益の持分相当額については、営業外損益に計上するとともに同額を「匿名組合出資金」に加減する処理を行っております。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品

総平均法に基づく原価法によっております。

原材料

総平均法に基づく原価法によっております。

貯蔵品

最終仕入原価法に基づく原価法によっております。

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産(リース資産を除く)

定率法を採用しております。

ただし、建物及び構築物については定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	7～35年
構築物	10～20年
機械装置	17年
車両運搬具	2～4年
工具器具備品	2～20年

無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいております。

リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用しております。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当事業年度負担額を計上しております。

(5) 収益及び費用の計上基準

当社は、以下の5ステップアプローチに基づき、収益を認識しております。

ステップ1: 顧客との契約を識別する。

ステップ2: 契約における履行義務を識別する。

ステップ3: 取引価格を算定する。

ステップ4: 契約における履行義務に取引価格を配分する。

ステップ5: 履行義務を充足した時に又は充足につれて収益を認識する。

当社はテーマパーク事業を運営しており、顧客との契約から生じる収益に関する主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点(収益を認識する通常の時点)は下記のとおりであります。

① 入場料売上

「ムーミンバレーパーク」に係る入場料売上については、テーマパーク内の施設の提供が履行義務であり、入場チケットの利用日に履行義務が充足されるものとして、一時点で収益を認識しております。

② 物販・飲食売上

「ムーミンバレーパーク」における物販・飲食売上については、顧客に商品を引き渡した時点で収益を認識しております。なお、物販売上のうち、当社が代理人に該当すると判断したものについては、顧客から受け取る額から仕入先に支払う額を控除した純額で収益を認識しております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末の発行済株式の種類及び総数に関する事項

普通株式 20,854 株

3. 収益認識に関する注記

顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

収益を理解するための基礎となる情報は、「1.重要な会計方針に係る事項に関する注記 (5) 収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

4. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。